

堂ヶ島遊歩道コース

知る人ぞ知る秘境! 紅葉の季節にぜひ訪れたい



歩いて、未病を改善!
神奈川県・県西地域ウォーキング 箱根町 No.53

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

S スタート 箱根登山鉄道「宮ノ下駅」

G ゴール 箱根登山バス♀「木賀温泉入口」
箱根登山鉄道「箱根湯本駅」まで約15分

※箱根町観光協会のホームページ▶



※富士箱根伊豆国立公園

箱根地域内における歩道利用ガイドライン▶



歩行距離

1.8km

歩行時間

40分

消費カロリー

151kcal

高低差

113.6m

歩数

2,350歩

コースの魅力

【花】イワタバコ(6月~7月) 【景観】堂ヶ島渓谷沿いの紅葉 【温泉】堂ヶ島温泉、木賀温泉、宮ノ下温泉

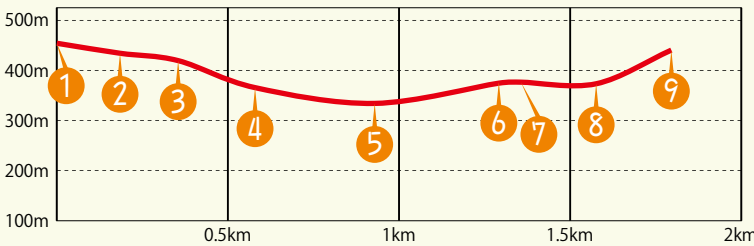


箱根湯本駅までバス約15分

四季折々の
楽しみがある
コースだよっ



標高グラフ



コースの概要

短い距離でありながら、秋には堂ヶ島(早川)渓谷沿いの紅葉を間近で楽しむことができる穴場コースです。大自然を気軽に満喫したい方におすすめ。アップダウンはそれほどきつくないのですが、一部滑りやすい場所があるため、底のしっかりとした靴が必要です。箱根登山鉄道の宮ノ下駅がスタートとなりおり、山岳リゾート気分を味わえるのも魅力。

火山の恵みを楽しもう!



箱根温泉

箱根温泉の歴史は古く、特に湯本温泉は奈良時代の開湯と伝えられています。江戸時代の初期には七つの温泉場が確認され、「箱根七湯」と総称されていました。明治時代以降は温泉技術の発達とともに開発が進み、現在では箱根十七湯※となりました。箱根温泉は泉質が豊富で「温泉のデパート」とも呼ばれています。※数え方はいくつかあります。



蛇骨溪谷

蛇骨溪谷は箱根宮ノ下の西に位置し、ナトリウム-塩化物泉の底倉温泉が湧いています。「蛇骨」の名前の由来は温泉に含まれるケイ素が沈着してできた珪花が白くたまり、蛇の骨のように見えることにあります。この湧泉群のひとつに、1590年に豊臣秀吉が小田原攻めの最中に家臣をつれて入ったと伝えられる「太閤の石風呂」があります。



※歩行時間は、箱根町のデータを参照。 ※歩行距離、高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和8年2月現在のものです。



ウォーキングMAP



※自然災害伝承碑(🏛️)についての説明は、国土地理院のHPをご覧ください。
<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

明治11年創業のクラシックリゾートホテル
富士屋ホテル
 創業140余年。多くの建物が登録有形文化財に指定されており、重厚且つクラシックな雰囲気をご堪能いただけます。
 【住】足柄下郡箱根町宮ノ下359
 【電】0460-82-2211
 【営】9:00~20:00 【入】無料

- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 ウォーキングMAPのルート以外に立ち入るのはやめましょう
 - 4 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 5 水分の補給をこまめにしましょう

ジオサイトって？
 箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりを楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

箱根と縁のある人物とは？



チェンバレンと堂ヶ島遊歩道

明治時代に東京帝国大学教授として日本文化を研究し、箱根にも長らく滞在したバジル・ホール・チェンバレンがよく散歩していた道ということから、別名「チェンバレンの散歩道」と呼ばれています。

ひと足のばしてみよう！

宮城野温泉会館

箱根・宮城野に初めて湧出した温泉を利用した、地域の人々も通う気軽な雰囲気の施設です。85畳の広々とした大広間は持ち込み自由の休憩室になっています。

【住】足柄下郡箱根町宮城野922
 【電】0460-82-1800
 【営】10:00~21:00
 【入】大人650円 子ども300円
 【休】木ほか



「未病」を改善すれば、人生はもっと楽しめる。
 「かながわ県西地域」で未病を改善！！